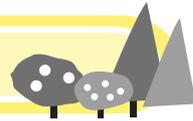




市教委だより



市政

教育

くらし

情報掲示板

中村西中学校

いかだ用竹切り 作業に汗を流す

5月31日、3年生59人と教職員、それに保護者の皆さんにもご協力をいただき、7月31日に予定している、四万十川いかだ下りに用いる竹の切り出し作業を実施しました。このいかだ下りは西中開校以来続いていく伝統行事です。



割れないように慎重に！

いかだは生徒用10廷、保護者用2廷、教職員用1廷の計13廷作ります。一つのいかだに使用する竹は、長さが5mで12本必要となりますので、約160本の竹が必要となります。その竹は今年も具同地区の竹林を所有している方から提供を受けました。
6月20日にはいよいよいかだの組み立てです。暑い中での作業となるでしょうが、四万十川を手作りのいかだで下ることを心待ちに、一つ一つ丁寧に組み立てていくことでしよう。



パワー全開！

531 (月)

田野川小学校

百人一首で、共に学ぶ

「いにしへの(上の句)、：にほひぬるかな(下の句)。「ハイ」「ハイ」、間髪を入れずに元気な声があちこちから聞こえる。昨年から始めた五色百人一首、5組に分けられた百人一首のかるたを1組(20枚)単位で取り合う競技です。この百人一首は各学校で10年ほど前から学級活動などに取り入れられており、本校では朝会時に全校で実施しています。
日本の伝統文化を身近に感じ、独特な詠み方に慣れながら、豊かな人間性を養う教材です。毎回順番が入れ替わるので緊張感もあり、モチベーションも高まります。静かな張り詰めたすてきな時間を味わっている子どもたちです。

本校は児童数16名、職員数6名の小規模・複式校です。自然の中で恵まれた学習環境のもと、体験学習(自然、生活、社会)を重視した教育活動を展開しています。



正座して、礼に始まり礼に終わる

西土佐中学校

職場体験学習

西土佐中学校では、5月18日～20日までの3日間、3年生の職場体験学習を行いました。子どもたちがそれぞれ将来就きたい、興味のある職業をもとに今回の事業所を決定しました。
「態度・言葉・あいさつなど社会人としてのマナーの大切さを学ぶ」という目標を掲げていたこともあり、事前打ち合わせの段階から何度も電話対応の仕方を確認したりするなど、緊張した様子で取り組んでいました。職場体験初日は、緊張に不安が加わり、少しかたい表情となっていました。自分から動くなど、それぞれの目標に合わせて2日目からは積極的な姿もみられました。
3日間を通して「社会に出て働くこと」について、厳しさや責任を感じることができたのではないかと思います。また同時にやりがいや喜びを感じることができ、将来の職業への思いも強くなったようです。

518 (水) 5 20 (木)



お忙しい中、子どもたちの職場体験の機会を与えてくださった各事業所の皆さま、大変ありがとうございました。

西土佐地域新設校 準備委員会を開く

市教育委員会では、平成24年4月に西土佐地域に新しい小学校を創設するため、西土佐地域の学校、PTA、分館(現在休校地域)、区長会、教育審議会等の代表者で構成する「四万十市西土佐地域新設校準備委員会」を設置しました。第1回目の会議を5月25日に開催し、会長、副会長を選出し、専門部会の構成などを決定しました。本格的な議論は次回からとなります。

なお、当日出席がなかった一部地域につきましては、西土佐地域全体で新しい小学校をつくることのできるよう、協力をお願いしているところです。
今後も会議の進捗状況については、お知らせしてまいりますので、よろしくお願いいたします。

